

# 福寿草

新俳句人連盟  
石川県支部

発行  
野村芳泉

NO 76

2012年

1月1日



「謹賀新年」  
昨年は三・一一  
東日本の地震、津波、  
原発事故苦難の年でした。  
今年こそ希望のある年にし  
たいものです。  
元旦

石川県支部の皆さんへ  
ものの姿を写すことで、ものに託すこと  
で気持ちをあらわしたい 工藤博司

元気なお姿が句の作品から伝わってきます。いつも同じようなことを書いて恐縮ですが、やはり俳句の基本ですからお許し下さい。「事柄」「気持ちの説明」「説教めいたり、ことわざ調」の表現を句の中心にするのではなく、事でなくものそのものをとらえ、ものの組み合わせ取り合わせによって、またものの姿を感じとることによって、句の世界を組み立てることに心かけたいものです。今月の作品で言えば、塚林淑江さんの作品NO7、8、9に詠まれているものともとの組み合わせやその姿、宮岸美苗さんNO37、38、39村井香月さんのNO29の作品などをして、かり鑑賞してみして下さい。形も、色も、においもない「言葉」によって世界を組み立てるのはむずかしいのですが、それだけに形のあるもの（物）の力を借りて表現することが大切です。寒さにめげず、どうぞ良い年を迎えて下さい。

何とかしたいと思うことの一つ  
「知事の冬一途に拒む記者会見」 野村芳泉

皆様の後より作句に頑張ってください  
浅野紅泉  
努めて琴線を張り怠惰に克ちたいと思います  
塚林淑江  
辰年や元気の源新俳句人  
橋 建次  
ただただ健康を祈るのみ  
高道 淳

説明や報告になってしまう私の句を姿に変えて表現する…  
和泉めぐみ  
少しくとも  
宮岸美苗  
必ず投句「引き続き目標に！」  
古屋もり

交流誌頂いた  
支部

孟宗置賜  
(山形)  
神奈川支部  
どんぐり会報  
俳句人大分とよま  
俳句人とやま  
長野支部報

俳句人愛媛  
支部報

花信 (兵庫支  
部)

「べらんめえ」  
東京23区支



## 十二月紙上句会

工藤博司選

新米は農家のいのちシーベルト 芳泉  
微笑んで千両の実うす紅し 紅泉  
轟きて冬転がし来日本海 淑江  
生きている証と届く林檎かな 関  
残骸のまだ居座りて師走なり 建次  
ほたるいか短い命光らせて 淳  
ぼたぼたの熟柿<sup>すず</sup>啜<sup>す</sup>ってた母に似る めぐみ  
能登産の「ころ柿」<sup>じだ</sup>耳<sup>だ</sup>の<sup>ごと</sup>赤く幸清  
雲から雪へおちこちタイヤ替え 南中  
老ゆる夫飯のこぼれてちゃんちゃ香月  
んこ  
廃油でイルミネーション輝かせ もり  
瀬音きく名残の芒出湯かな 光意  
黄葉の一葉となりし迷い蝶 美苗  
京の秋人のあふれる本願寺 小雪  
冠雪の医王の山々夕日映え 十美  
核のゴミ2300発の大気圏 浄教

## 詩篇のごと白鳥降りてくる出羽野

二〇一一年十二月二十二

工藤博司

「去年今年俳句の道を真つすぐに」  
堀 幸清  
本を読む習慣を身につけたいと思います 村井香月  
心穏やかな日常を心掛けたと思う 久五郎嶋南中  
まずは健康第一に俳句を身近におきます 東山光意  
一ヶ月入院の憂身になりまだ気おくれ日々です 瀬戸十美  
あつと言つ間の一年でした。年のせいからだに 西屋小雪  
気を配るようになりました。 滝原 関  
今年も健康で「福寿草」編集出来ますように  
俳句がすらすらーと思いうかぶ年にしたい 山下浄教

## 2012年新年の抱負

